

2020鉄道安全報告書



信濃竹原駅～夜間瀬駅間を走行する 3000 系

長野電鉄株式会社

この安全報告書は、2019 年度（令和元年度）当社の鉄道における安全を確保する取組みや安全・安心に係る実績をまとめたものです。

安全報告書 目次

1. ごあいさつ	1
2. 輸送の安全に関する基本指針	2
安全方針	
安全行動規範	
3. 安全管理体制と安全マネジメント	2
安全管理体制	
安全マネジメント	
4. 令和元年度の安全計画への取組み	4
安全マネジメントの浸透及び理解度の向上	
ヒヤリ・ハット情報の活性化	
情報の伝達、コミュニケーションの活性化	
従事員の適性や健康の管理	
安全・安心な鉄道施設の更新と管理	
5. 安全目標の達成状況	11
鉄道運転事故等の発生状況	
列車運行を妨げる危険な行為等	
行政指導	
6. お客様の快適な輸送へ向けた取組み	15
啓発活動	
駅施設等の改善	
7. 地域に密着した親しみやすい駅を目指して	17
8. お客様・沿線の皆さまへのお願い	17
9. お客様からのご意見の募集	18

1 ごあいさつ

更なる安全を目指して

皆さまには日頃より長野電鉄をご利用いただきますとともに、ながでんグループにご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

また、沿線の皆さまには鉄道事業の運営にご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

「安全はすべてに優先する」との基本方針に基づき、令和元年度は、『当社による責任事故「0件』、『インシデント「0件』、『運輸局届出対象のヒューマンエラー「0件』、『施設・車両による輸送障害「前年度より削減』、『接遇によるクレーム「前年度より削減』を安全目標に掲げ、輸送の安全の確保に取り組んでまいりました。その結果、有責事故、インシデントについては目標を達成しましたが、自社責任の輸送障害については、昨年0件に対し4件と増えました。4件中3件は古い車両における不具合を要因として起きたことから、新規車両を導入することにより解消できると思案しております。

近年、台風や豪雨などの大規模自然災害により、各地で大きな被害が発生していますが、昨年の10月には台風19号により沿線地域で多くの方が被害にあわれました。幸い当社においては大きな被害はなかったのですが、安全確保のため10月12日の夜から13日終日列車の運転を見合わせました。また、2月から3月にかけて世界的な流行をもたらした新型コロナウイルスに対しても、車両、駅施設の消毒や換気等を行い感染の防止に努めてまいりました。このような、自然災害や感染症に対してもお客さまの「安全・安心」の確保とともに施設の保守など一層安全の確保に努めてまいります。

当社は令和2年5月30日に創立100周年を迎えます。今後も、日頃から安全意識を高く持ち、危険要素の排除に努め、お客さまに安心してご利用いただけるよう安全性の向上に取り組んでまいります。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、令和元年度に実施した鉄道輸送の安全に関する取組みや鉄道運転事故・輸送障害の状況や設備投資等について報告するために作成したものです。本報告書をご一読いただき、忌憚のないご意見やご感想をいただければ幸いに存じます。



長野電鉄株式会社
取締役社長 笠原 甲一

長野電鉄路線図



2 輸送の安全に関する基本指針

当社は、平成 18 年に制定した「鉄道安全管理規定」に合わせて、経営方針の基幹となる安全方針、安全行動規範を制定し、役職員へ徹底しております。

安全方針

お客さまの安全の確保は輸送の生命であり、すべてに優先する。その安全は従業員一人ひとりが創るもので、規程を遵守し職務を厳正、忠実に遂行することによって支えられている。

私たちは鉄道事業を担う誇りを共に持ち、安全確保のため日頃から危険要素の排除に努め、常に安全意識を高く持ち、お客さまの安全、安心確保の責務を誠実に果たし社会に貢献する。

安全行動規範

1. 一致協力して輸送の安全の確保に努める。
2. 輸送の安全に関する法令及び規程をよく理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行する。
3. 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑いのある時は最も安全と思われる取り扱いをする。
4. 事故、災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとる。
5. 情報は洩れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
6. 常に輸送の安全とお客さまの安心に問題意識を持ち、継続的な改善に取り組む。

3 安全管理体制と安全マネジメント

安全管理体制

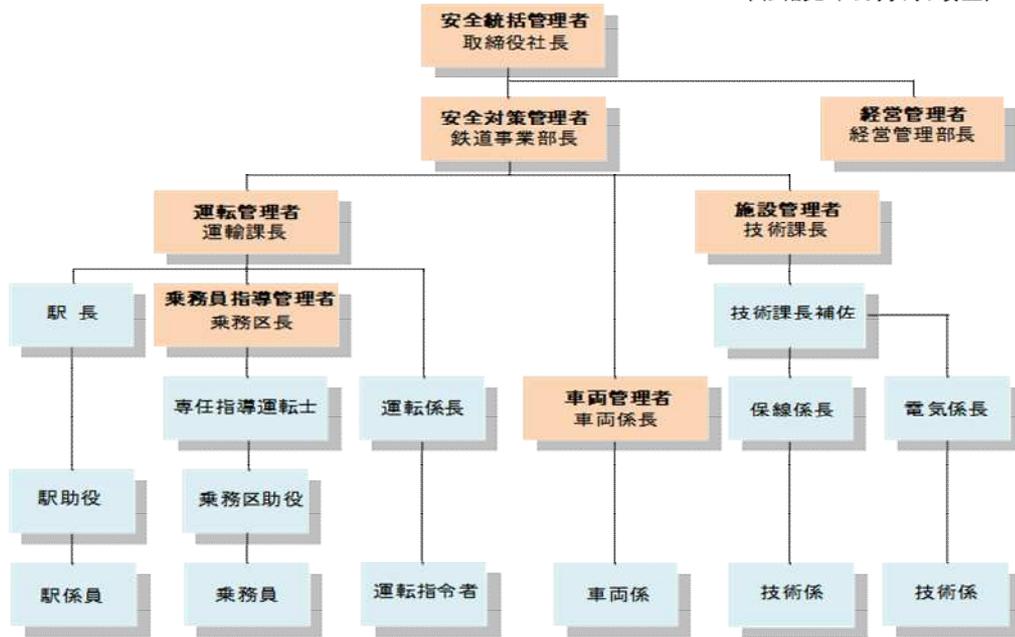
鉄道安全管理規程において、社長をトップとする安全管理体制を構築し、各管理者が安全確保の役割を担い、輸送の安全の向上に努めております。

安全管理体制における管理者の責務

安全統括管理者	…… 輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
安全対策管理者	…… 安全統括管理者を補佐し、輸送の安全を確保するために設備、輸送、要員、投資、予算その他必要な計画及び事故防止に関する事項を統括する。
運転管理者	…… 安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括し係員の資質の保持に関する事項を管理する。
乗務員指導管理者	…… 運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施設管理者	…… 安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者	…… 安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
経営管理者	…… 安全統括管理者の指揮の下、輸送の安全確保に必要な設備投資、人事、財務等に関する事項を統括する。

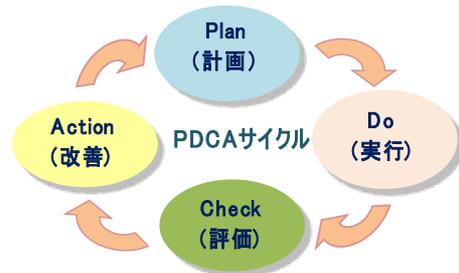
安全管理体制図

(令和元年10月1日改正)



安全マネジメント

輸送の安全確保に関する「安全マネジメント実行計画とスケジュール」を策定し、「PDCA」サイクルを回すことにより、保守委託会社である長電テクニカルサービス（株）とともに安全マネジメントの確実な運用と改善に取り組んでいます。



安全対策委員会の開催

委員会では、安全統括管理者（社長）を委員長として、発生した事故や輸送障害等の検証と再発防止対策、安全投資や設備改善等安全性の向上の取組み、管理者が行う重点施策の進捗状況等の確認を行っています。（令和元年度5回開催）

事故防止対策会議の開催

対策会議では、当社鉄道事業部門と鉄道施設の保守業務をしている長電テクニカルサービス（株）並びにその他関連企業を構成メンバーとし、発生した事故や輸送障害に関する原因及び背後要因等を調査・分析し、再発防止に向けた対策の協議・決定を行うほか、台風や大雪等自然災害への対策を講じています。また、ヒヤリ・ハット情報や他社事故情報を活用した事故の未然防止対策や係員の資質の確認と維持を図っています。

（令和元年度13回開催）

安全監査（内部監査）

安全監査（内部監査）は、安全管理体制が適切に運営され有効に機能しているかどうかを監査するもので、安全統括管理者（社長）を含めた管理者及び関連会社に対して実施しています。令和元年度の監査による是正措置として、安全方針、安全行動規範の周知徹底、ヒヤリ・ハット情報の分類・整理・分析のレベルアップ、技術継承のための人材育成プログラムの策定などの提言がありました。更にフォローアップ監査を行い進捗状況を確認することで改善の推進を図っています。

マネジメントレビューでは、経営トップによる安全管理体制の適切な運営と機能の有効性の確認を行っています。安全目標・安全重点施策の達成状況や安全マネジメントの浸透状況、安全管理体制などを検証する中で、改善すべき点を踏まえて次年度の安全重点施策の策定を行いました。

4 令和元年度の安全計画への取組み

安全目標

1. 当社による
責任事故「0件」
インシデント「0件」
2. 運輸局届出対象の
ヒューマンエラー「0件」
3. 施設・車両による輸送障害
「前年度より削減」
4. 接遇によるクレーム
「前年度より削減」

安全重点施策

1. 経営トップをはじめ管理者や職場長・助役等リーダーの積極的な関りにより安全マネジメントを浸透させる。
2. 主体的なヒヤリ・ハット報告の提出と有効活用によりヒューマンエラー防止と接遇の向上へつなげる。
3. 施設や車両の状態に違和感を感じたらすぐに報告、現場の確認・点検により最も安全な処置を行う。
4. 安全を優先した効率化への改善と、日々の作業内容の見直しを行う。
5. お客様の安全・安心向上につながる行動を、皆で認め、称賛できる職場を創る。

安全マネジメントの浸透及び理解度の向上

経営トップをはじめとする役員や管理者が、安全マネジメントの理解浸透に向けて、従事員一人ひとりの安全意識を高めるため、機会あるごとに現場に足を運び、安全目標や安全重点施策、経営方針等を伝えています。また、現場では教育・訓練に合わせて安全マネジメントの理解を深め、安全・安心の確保に取り組んでいます。



【社長による講話】

電車乗務員

電車乗務員は隔月による定例教育を開催することで技能の維持・向上に努めています。そのほか、乗務区助役・指導運転士・指導車掌が定期的に列車に添乗し、基本動作に沿った業務の実施状況について確認しています。また、新規導入車両の運行に合わせて車両の構造や習熟運転に関する教育を行いました。



【新規導入車両研修】



【指導者による列車添乗】



【異常時対応訓練】

運転指令員

運転指令では関係する職場と定期的に安全会議を開催し、情報共有や職場間のコミュニケーションなどを確認する中で安全意識の向上と事故防止に取り組んでいます。また、異常時に適切な対応がとられるよう、信号故障や事故を想定した訓練を行いました。



【信号機故障時の運転訓練】



【異常時対応訓練】



【避難バシゴ装着訓練】

駅員

駅員を対象に年2回の研修を実施しています。令和元年度は、過去に起こした事故を風化させないために、平成9年に起きた屋代駅の脱線事故を教訓として振り返りました。また、指令員と駅員合同の異常時対応訓練も実施しました。



【駅従事員教育】



【転てつ器手回し訓練】



【駅設備集中監視盤教育】

技術課・長電テクニカルサービス（株）

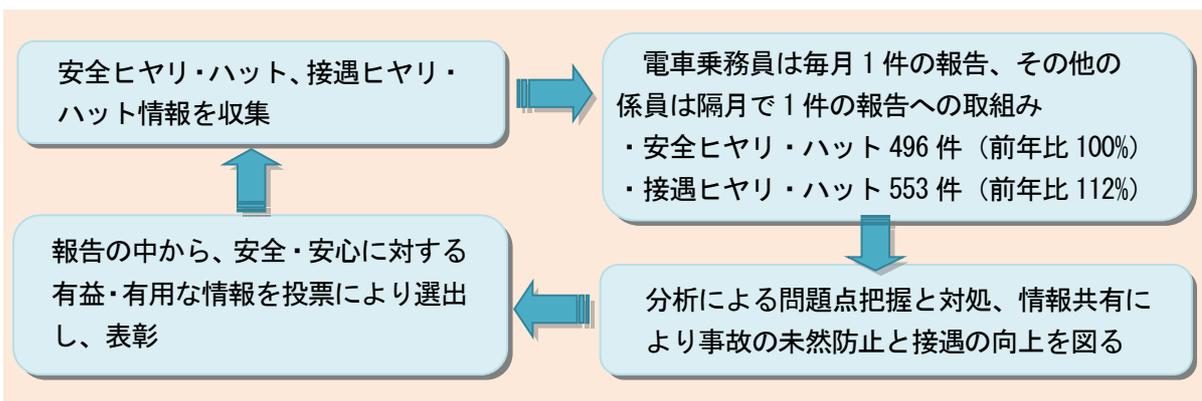
当社の技術課と保守を委託している長電テクニカルサービス（株）は、工務、電設、車両の各部門で会議を定例的に開催しているほか、8月には同社主催の第5回安全大会を開催し、部門ごとに安全への取組みを発表しました。



【長電テクニカルサービス㈱安全大会】

ヒヤリ・ハット情報の活性化

「事故の芽」情報である安全ヒヤリ・ハットと「クレームの芽」である接遇ヒヤリ・ハットを収集分析・活用することで、未然の事故防止と接遇の向上に取り組んでいます。



コミュニケーションの活性化

経営トップが開催する「くるま座集会」において、トップ自ら現場の声を直接聞き、安全・安心に関する改善策につなげています。また、電車乗務員のグループ活動ではリーダーが中心となって意見交換や情報共有を行い、ヒューマンエラーの防止に努めています。



【くるま座集会】



【グループ活動による意見交換】

異常時への対応訓練

11月に須坂駅構内で「踏切内に停まっていたハイブリッド型乗用車と列車が衝突し、負傷者3名と列車が運転不能」という想定のもと、消防機関と当社が連携して総合防災訓練を実施しました。訓練は、事故発生時の第一報、関係各所への通報・消防機関への連絡、現地対策部の設置、乗客避難誘導、救援列車との連結など行い、手順・動作を再確認することで、異常時にも確実に対応できるよう備えています。



【車との踏切事故を想定】



【通報・連絡訓練】



【列車内からの負傷者救出】



【故障車両との連結訓練】



【講評】



【訓練終了後の車両説明会】

交通安全の啓発活動

春と秋の全国交通安全運動に合わせ、沿線の小・中学校に対して出前の交通安全教室を開催しました。また、踏切道において「長野電鉄踏切道事故防止対策推進連絡会議」と警察との合同により踏切事故防止に係る啓発活動を実施しました。



【運転士による中学校での安全教室】



【踏切道でのリーフレット配布】

従事員の適性や健康の管理

従事員の適性検査

運転関係係員に対して、定期健康診断による身体機能及びクレペリン検査による作業性機能の適性を、定期的に確認しています。特に電車乗務員は乗務前に点呼執行者と対面による点呼を行い、健康状態を確認しています。



アルコール呼気検査



電車乗務員に対して、乗務開始前及び終了後に呼気検査を実施しています。検査により最低値となる0.05mg/l以上の値が検出された場合は、当日の乗務を停止させ、代替りの乗務員を手配し、酒気帯び状態等での乗務の防止を徹底しています。

睡眠時無呼吸症候群（SAS）検査

電車乗務員に対して、睡眠時無呼吸症候群（SAS）の検査を年1回行い、その兆候について確認しています。

検査の結果、兆候が見られた場合は再検査や、医療機関で治療を行うよう指導をしています。



自動体外式除細動器（AED）講習

駅員、乗務員等に対して、自動体外式除細動器の取扱講習会を定期的を開催し、急病などお客さまに対して適切な対応ができるよう備えています。

AEDは以下の駅に設置しています。

長野駅、権堂駅、本郷駅、信濃吉田駅、朝陽駅、須坂駅、小布施駅、信州中野駅、湯田中駅



【AED取扱講習】

安全・安心な鉄道施設の更新と管理

安全への投資

鉄道事業にかかわる安全のための投資状況

(単位：百万円)

年度	設備投資			修繕費 ^{※1}			合計 ^{※2}
	施設・設備	車両	計	施設・設備	車両	計	
平成29年度	334	0	334	217	215	432	765
平成30年度	530	0	530	276	222	498	1,028
令和元年度	346	328	674	231	203	434	1,108

※1：保守委託費を含む

※2：金額単位未満の処理により合計が一致しない場合があります。

安全に関する設備投資

軌道（線路）等の強化

レール重軌条化^{※3}

安全性緊急評価事業^{※4}の推進計画に基づき、安全性向上のため順次 50 kg N レール^{※5}に更新しています。令和元年度の整備事業は、返目踏切道および吉田横町踏切道付近の重軌条化を行い、重軌条化（40 kg以上のレール）は全体の 83.0%となりました。



【返目踏切道】



【吉田横町踏切道】

PC マクラギ化^{※6}

安全と乗り心地向上のため、木マクラギから PC マクラギへの交換を行っています。全線で PC マクラギの割合は 28.9%となりました。今後も順次交換を進め、安全性の向上を図ります。



【更新された PC マクラギ】

本郷駅の改修工事

本郷駅では、お客さまが快適にご利用いただけるよう、階段を廃止し、スロープによる段差解消、男女洋式トイレならびに多機能トイレの新設、内方線付点状ブロック^{※7}の敷設、多言語の案内標識設置、待合室と駐輪場の整備を行いました。



【本郷駅（須坂方面のりばスロープ）】

【用語の説明】

- ※3：重軌条化とは軌条（レール）をより重量のあるものに交換し、振動の軽減及び安全性を向上させるものです。
- ※4：安全性緊急評価事業とは、「地方中小鉄軌道事業者の安全対策について」（平成 14 年 2 月 26 日国鉄施第 205 号）に公示されたもので、当社は「安全性緊急評価」を平成 15 年度に実施しました。その安全評価に基づき平成 16 年度より順次設備等の改修を実施しております。
- ※5：レールは通常 1m 当たりの重量で呼ばれています。長野電鉄で用いられているレールは 30 kg、37 kg、40 kg N、50 kg N の 4 種類に大別されます。
- ※6：PC マクラギとは、マクラギ製作の過程でコンクリート内の鋼材に引張力を掛けたまま固めることで強度を持たせたコンクリートマクラギのことです。
- ※7：内方線付点状ブロックは、点状の突起に加え、ホーム内側部分に線状の突起を設け、視覚障がい者がホームの端がどちら側にあるかを分かるようにするものです。

電気設備等の更新

須坂変電所整流器増設

高出力の車両が増えたことに伴い、村山駅付近及び小布施駅付近の電車線電圧降下を解消するため、須坂変電所に整流装置を増設しました。増設により整流装置が 2 台となったことで、1 台が休止した場合でも安全で安定的な運行が可能になります。



【須坂変電所 2 号整流装置】



【監視制御卓須坂変電所】

踏切支障報知装置設置

踏切支障報知装置は、踏切道における事故防止対策の一環として計画的に導入しています。装置の機能は、踏切付近に設置した押しボタンを扱うことにより、特殊信号発光機を明滅させ、踏切道に接近する列車運転士に障害物があることを知らせます。

次の踏切道に同装置を新設しました。

- ・ 一軒屋踏切道（本郷駅～桐原駅間）・ 桐原東踏切道（桐原駅～信濃吉田駅間）
- ・ 酒屋裏踏切道（桐原駅～信濃吉田駅間）

桐原東踏切道



【踏切支障報知装置】



【特殊信号発光機】

踏切保安送受信器更新

保安送受信器は、踏切道に接近した列車を検知し、踏切を動作させるために必要な機器類で計画的に更新しています。踏切装置の信頼性を向上させ、踏切道および安全な列車運行に役立っています。令和元年度は本郷駅西側の踏切道の機器を更新しました。



【踏切制御箱（本郷踏切道）】

車両の保守

車両の保守

須坂第一車両工場では、車両の適正な状態を維持するため、日常的な点検・修繕に加え、定期的に車両を分解して検査する重要部検査・全般検査を行っております。令和元年度は新型通勤車両の導入により、今後の保守に向けた知識習得や一部工事を行いました。



【2100系 全般検査】

車両の更新

3000系車両（元東京地下鉄日比谷線03系）2編成を導入しました。初のVVVF制御（可変電圧可変周波数制御）車両で、交流モーターを制御することにより、電力消費量の削減につながる省エネルギー車両です。



【3000系 新規導入車両】

5 安全目標の達成状況

当社責任による鉄道運転事故及びインシデント^{※8}の発生は0件で、鉄道運転事故は22年3ヵ月、インシデントは1年1ヵ月間0件を継続しています。

※8：インシデントとは、鉄道事故等が発生するおそれがある事態を指します。

鉄道運転事故等^{※9}の発生状況

鉄道運転事故が1件、輸送障害が7件発生しました。

うち、当社が原因により、列車の運休や30分以上の遅れが発生した輸送障害が4件発生し、お客さまに大変ご迷惑をおかけしました。

	当社係員が原因	当社車両が原因	第三者が原因	その他が原因	計
鉄道運転事故 (人身傷害事故)			1		1
輸送障害	1	3	2	1	7

※9：鉄道運転事故等の種類につきましては、国土交通省のホームページに用語の解説がございますのでご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/tetudo/enzen/anzenjouho/anzen08.pdf>

第三者が原因となった人身傷害事故

事故 1

令和2年3月30日22時06分頃、朝陽駅～附属中学前駅間において、線路内に立ち入った公衆と普通列車が衝突しました。全線で遅延12本（最大67分）が発生し、約250名のお客さまに影響がでました。

当社係員が原因となった輸送障害

状況

令和元年8月15日(木)22時24分頃、小布施駅～桜沢駅間において、列車が存在しないにも関わらず、列車が存在する表示が運転指令の運転監視制御盤上で点灯し、この区間へ列車が進入するために必要な信号機が停止信号となりました。

影響

須坂駅～信州中野駅間で2本の運休と全線で7本の遅延(最大89分)が発生し、約130名のお客さまに影響ができました。

原因・対策

変圧器とケーブルとのつなぎ目に使用されていた接続金具の締付け不足によりケーブルが変圧器から脱落したため、類似箇所の点検を実施するとともに作業方法の見直しと情報の共有を図り、再発防止に努めました。

車両故障が原因となった輸送障害 1

状況

令和元年6月26日(水)6時13分頃、信州中野駅発湯田中行的普通列車がSIV(補助電源装置)の故障により、信州中野駅で運行が不能となりました。

影響

信州中野駅～湯田中駅間で4本の運休と全線で遅延10本(最大19分)が発生し、約2,400名のお客さまに影響ができました。

原因・対策

経年劣化によりSIV制御電源ユニットが動作不良となったもので、SIV制御電源ユニットを交換しました。今後は同形式の車両について、周期検査などで電源ユニットの点検を行うなど再発防止に努めます。

車両故障が原因となった輸送障害 2

状況

令和元年10月2日(水)14時55分頃、長野駅発須坂行の普通列車が信濃吉田駅を発車しようとしたところ、空気圧縮機の故障によりブレーキが緩まなくなり運行が不能となりました。

影響

全線で5本の運休と列車の遅延16本(最大59分)が発生し、約2,000名のお客さまに影響ができました。

原因・対策

空気圧縮機の電気を開閉するスイッチに取り付けられているシャントワイヤーの断線によるもので、直ちに全車両の点検を行うとともに、特に同形式の車両においては開閉スイッチ全てのシャントワイヤーを取替えました。

車両故障が原因となった輸送障害 3

状況

令和2年1月20日（月）6時46分頃、信州中野駅発湯田中行的普通列車が主電動機を制御する装置の故障で信州中野駅で運行が不能となりました。

影響

信州中野駅～湯田中駅間で、2本の運休と全線で遅延12本（最大14分）が発生し、約100名のお客さまに影響がでました。

原因・対策

主電動機を制御する装置内の接点の摩耗により通電されずにモーターが動かなくなったもので、接点の調整により処置しました。今後は周期検査時に同箇所を検査を行うなど再発防止に努めます。

第三者による輸送障害（自殺） 1

障害1

令和元年5月12日14時51分頃、信濃吉田駅～朝陽駅間、古里踏切道（第1種：警報機、遮断機のある踏切）付近で、線路上に立っていた公衆と普通列車が衝突しました。長野駅～湯田中駅間で4本の運休と全線で遅延25本（最大82分）が発生し、約1,500名のお客さまに影響がでました。

第三者による輸送障害 2

障害2

令和2年2月19日20時01分頃、須坂駅構内、六角堂踏切において軽自動車が踏切から線路内に侵入し脱輪したため、須坂駅～小布施駅間で列車の運転を見合わせました。この影響で、須坂駅～小布施駅間で1本の運休と全線で遅延6本（最大36分）が発生し、約60名のお客さまに影響がでました。

その他の原因による輸送障害

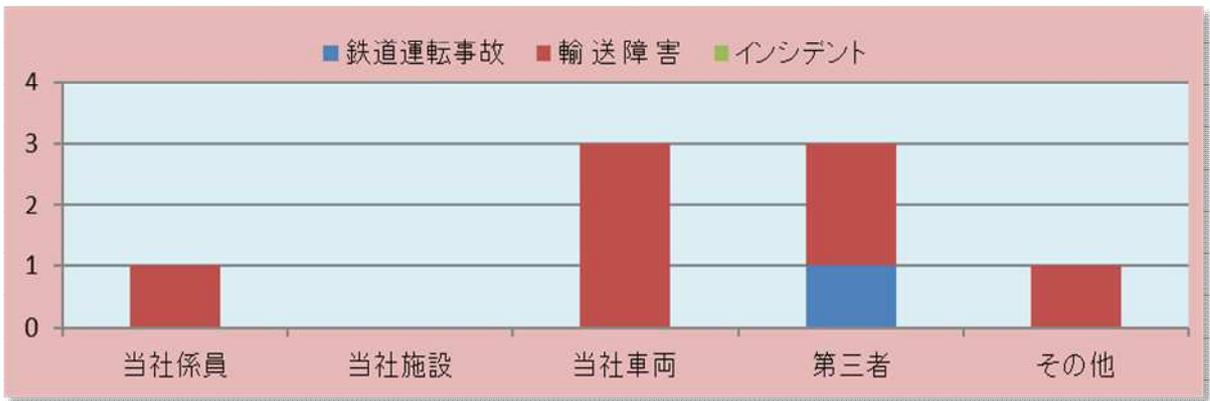
障害3

令和元年10月12日18時00分頃～13日にかけて、台風19号接近に伴い大雨による線路へ冠水の恐れがあると判断し、全線において運転を見合わせました。この影響により、2日間で204本の運休が発生し、約20,500名のお客さまに影響がでました。

最近5年間に発生した鉄道運転事故件数及び輸送障害件数の推移



令和元年度に発生した事故等の原因別件数



列車運行を妨げる危険な行為等

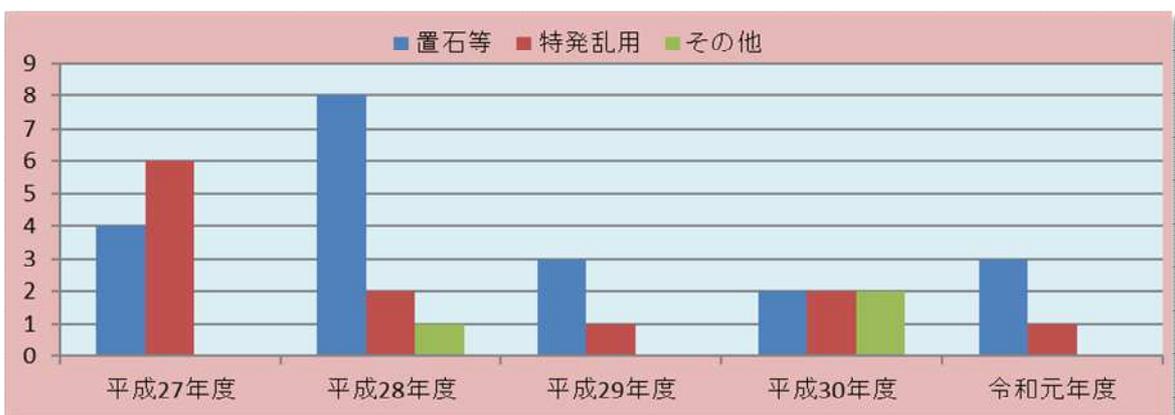
列車妨害の発生状況

※このような行為があった場合は、警察へ通報し現場検証を行っています。

置石 3件 故意に複数の石が置かれ、列車が緊急停止しました。
 特発^{※10}乱用 1件 特発の点灯により、列車が停止しました。

※10：特発とは特殊信号発光機のことです。踏切に異常があった場合センサー又は非常報知ボタンにより、発光信号が点灯し列車へ踏切の異常を知らせる信号です。

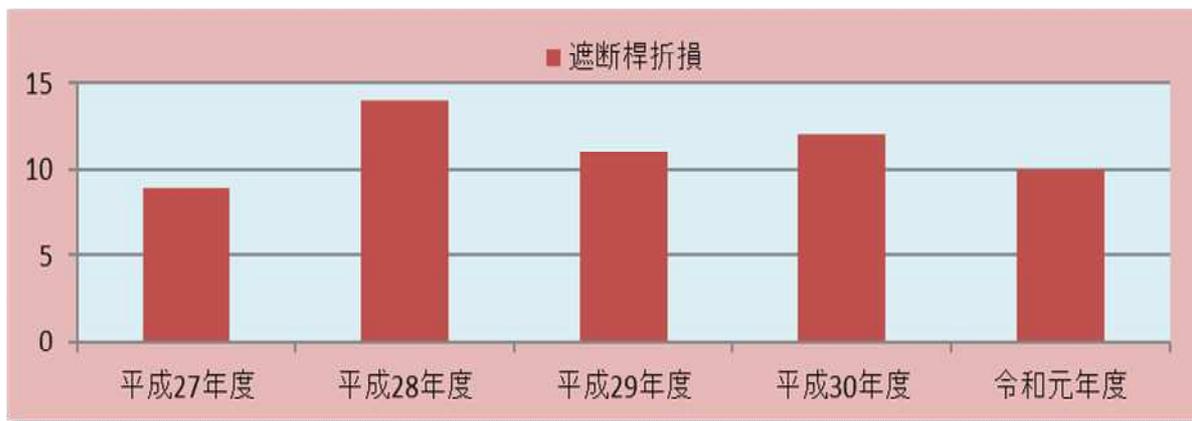
最近5年間に発生した列車妨害件数の推移



遮断桿折損の発生状況

自動車等が作動し始めた踏切へ強引に進入することで遮断桿を折損する事件が10件、また自動車等が遮断桿を引っ掛けたことで遮断桿が降下途中で止まった事件が6件発生し、列車が緊急停止しています。このような場合は、警察へ連絡し現場検証を実施しています。

最近5年間に発生した遮断桿折損件数の推移



行政指導

令和元年度における行政指導はありませんでした。

6 お客様の快適な輸送へ向けた取組み

啓発活動

マナーアップ運動

須坂駅と信濃吉田駅で鉄道利用マナー向上を目指した啓蒙活動を行いました。特に須坂駅においては、須坂創成高校の生徒の皆さまと一緒に啓発カード入りのティッシュを配布しました。



【信濃吉田駅での啓発活動】



【須坂駅で須坂創成高校の皆さまと】

信州中野駅照明 LED 化工事

信州中野駅の照明を蛍光灯からLED照明に変更しました。二酸化炭素排出量の削減にもなり、以前の蛍光灯に比べ駅全体が明るくなりました。



【改修前】

【改修後】

長野駅コンコース・地下入口の修繕工事

長野駅のコンコースや地下入口の壁にひび割れが発生したため、補修工事を行いました。



【改修前】

【改修後】

7 地域に密着した親しみやすい駅を目指して

一駅一花運動

各駅では駅周辺の皆さまとともに駅前や駅構内の植栽活動を行っています。小布施駅では4年目、須坂駅では3年目を迎えたほか、新たに朝陽駅、信州中野駅、湯田中駅でも地域の皆さまと一緒に一駅一花運動を始めました。



【信州中野駅】



【朝陽駅】



【湯田中駅】

8 お客さま・沿線の皆さまへのお願い

警報機・遮断機がない踏切での安全確認

当社には、踏切に警報機や遮断機がなく列車の接近を自分の目と耳だけで確認しなければならない「第4種踏切」が36カ所あります。その踏切で死傷事故が発生した場合、国土交通省の運輸安全委員会による事故調査が行われるため、長時間にわたり列車の運行を見合わせる場合があります。多くの利用者の皆さまにご迷惑をおかけすることにつながります。令和元年度は、列車の通過直前に横断する行為が6件ありました。悲惨な踏切事故をなくすために、すべての踏切手前では必ず一旦停止し、列車が来ないことを確認してから横断して下さい。

ホーム上の安全行動

ホーム上を走ったり、下を覗きこむといった行為は、ホームからの転落や列車との接触の恐れがあり大変危険です。列車をお待ちの際はホームの端から離れてお待ちください。また、歩きながらのスマホや携帯電話のご使用は、転倒・転落事故、列車や他のお客さまとの接触事故などにつながります。絶対にお止めください。

ホームの下へ物を落とされた場合は必ず駅員または乗務員に伝え、自ら線路に降りることは絶対にお止めください。

線路に接近しての作業

沿線住民の皆さまが線路付近で草刈や剪定作業をする際に、うっかり線路内に入ることがあります。列車と接触事故につながる危険性があり、たとえ線路に入らなくても接近しているときは、運転士が危険を感じて列車を停止することがあります。また、電車線は高圧の電流が流れているため触れると感電により死に至る恐れがあります。線路に接近しての作業は、事前に作業箇所や作業内容等を最寄駅へ連絡し、留意点を確認してから作業を開始してください。

列車妨害などの危険な行為

列車の運行を妨害する行為は、脱線や急停車によるお客さまの怪我、車両の損傷、全線の列車運行に影響を及ぼすなど非常に危険な行為です。また列車往来危険罪、器物損壊罪などの犯罪行為となり罰せられます。このような行為を見かけたときは、お近くの駅係員や警察にご連絡をお願いいたします。

列車の運行を妨害する行為

- ①線路への置石や物の放置
- ②列車への投石
- ③踏切の非常報知ボタンの乱用
- ④踏切遮断桿の折損
- ⑤線路内への進入 など

農業資材等の飛散防止

台風の接近や異常気象に伴う突風などにより、沿線の農地や住宅からビニールシートなど農業用の資材等が線路や電線に飛散し、列車が停止する事象が令和元年度は6件発生しています。長時間に渡り運転を見合わせる場合がありますので、飛散しやすい資材等は飛散しないよう管理をお願いいたします。

安全確保のための保守作業

鉄道の安全を支えていくうえで、日常のメンテナンスは不可欠であり、主に列車の運行がない夜間に作業を行います。沿線の皆さまには、騒音や夜間照明によりご迷惑をおかけいたしますが、鉄道の安全な運行に欠かせない作業ですので、ご理解・ご協力をお願いいたします。



【夜間のトロリー線張替作業】

9 お客さまからのご意見の募集

安全報告書や、当社の安全への取組みに対するご意見・ご要望につきましては、下記までお寄せください。

〒380-0833 長野市権堂町 2201 番地

長野電鉄株式会社 お問い合わせ窓口

本社代表 TEL 026-232-8121 FAX 026-232-8125

鉄道事業部 TEL 026-248-6000 FAX 026-248-6111

(月～金曜日 9:00～17:30 年末年始を除く)

お問い合わせメールフォームはこちらから

長野電鉄

検索

